

令和6年度ゼロカーボン研究会の概要と 第2回研究会の説明

事務局
(備前グリーンエネルギー株式会社)

令和6年度ゼロカーボン研究会の概要

【目的】

2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを実現するため、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現に向けた具体的な取組について調査・研究し、令和6年度以降に実現可能な事業等を創出すること。

【開催回数・時期】

合計3回のゼロカーボン研究会と、事業創出に向けた具体的内容を検討するためのゼロカーボン分科会を開催予定。

(5月、**9月**、11月)

【参加者】

産：各回テーマ毎に参加を希望する企業

学：各回テーマ毎に参加を希望する大学

官：岡山連携中枢都市圏構成市町、倉敷市など

令和6年度ゼロカーボン研究会の概要

【第1部】 事例研究

各回でテーマを決め、講師様から脱炭素化に資する情報提供を頂き研究会参加者で共有。得られた情報を岡山連携中枢都市圏や各団体での今後の取組みに活かす。

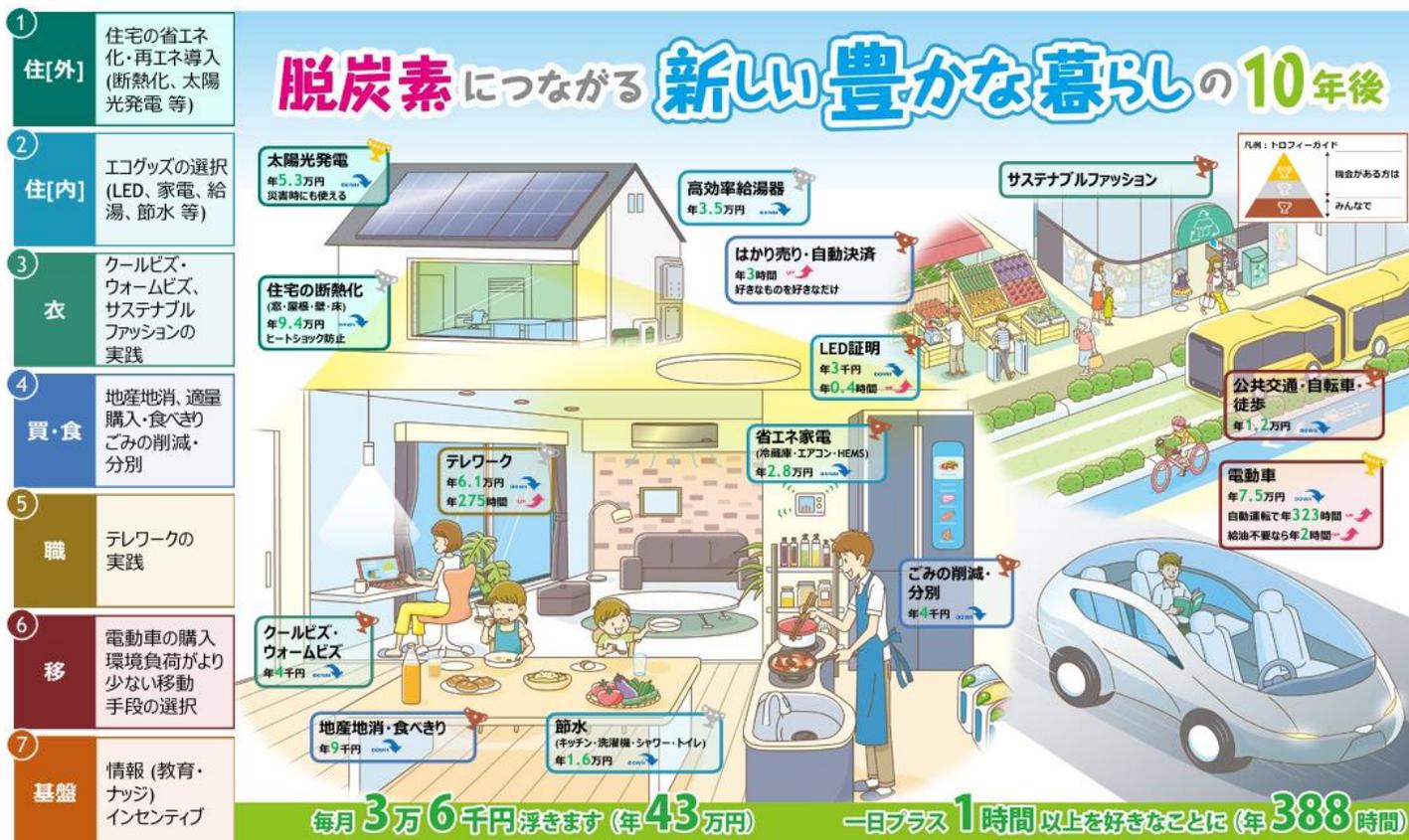
【第2部】 研究会参加者の取組みと事業創出について

岡山連携中枢都市圏全体、又は、一部の自治体や事業者における、脱炭素化に資する新たな事業創出に向け、ゼロカーボン研究会参加者でのこれまで取組みの共有と、ゼロカーボン研究会で推進している事業創出に関する現状報告。

【第1部】事例研究テーマ

『デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の推進』

- デコ活は2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向け、国民の行動変容・ライフスタイル転換を強力に後押しするための新しい国民運動として2022年10月に発足。
- 2024年2月には「くらしの10年ロードマップ」を策定し、暮らしの全領域（衣食住・職・移動・買物）を7つの分野に分け、官民連携により行動変容・ライフスタイル転換を促進することとしている。



【第1部】事例研究テーマ

『デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の推進』

- デコ活の具体的な行動である「デコ活アクション」とは、暮らしが豊かになり、脱炭素などに貢献する全ての行動
- 具体例として、高効率機器や太陽光発電の導入の他、**サステナブルファッションの取組み、地元食材公共交通の選択**などが挙げられており、あらゆる業種の事業者が貢献できる内容となっている。

デコ活アクション一覧

分類		アクション
まずはここから	住 デ	電気も省エネ 断熱住宅 （電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
	住 コ	こだわる楽しさ エコグッズ （LED・省エネ家電などを選ぶ）
	食 カ	感謝の心 食べ残しゼロ （食品の食べ切り、食材の使い切り）
	職 ツ	つながるオフィス テレワーク （どこでもつながれば、そこが仕事場に）
ひとりでのCO2が下がる	住	高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ
	移	環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住	太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣	クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住	ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移	できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買	はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住	宅配便は一度で受け取る

【第1部】事例研究テーマ

『デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の推進』

【講演の観点】

今回の研究会では、デコ活の他地域での取組み・今後の方向性や、岡山で盛んな繊維産業と関係の深いサステナブルファッションの取組みについてお話を伺い、自治体としてのデコ活の盛上げ方や、地元事業者が活躍できるポイント等について考える。

本日の講演内容

内容	講師
(1) 「デコ活」～暮らしの中のエコろがけ～ 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動	環境省 地球環境局デコ活応援隊 (脱炭素ライフスタイル推進室)
(2) サステナブルファッションの推進	一般社団法人unisteps

【第2部】 研究会参加者の取組みと事業創出について

脱炭素化に資する新たな事業創出に向け、下記の情報共有を行う。

- ・ゼロカーボン研究会参加者の取組み「瀬戸内市での取組紹介」
瀬戸内市環境部生活環境課 主査 坪本 美希 氏
- ・脱炭素化に資する事業創出の進め方について
事務局